

アンダーアーマー

新作TVCM「本能を解き放て」篇

8月8日(日)より放映開始

トレーニングを積むアスリートの真摯な姿勢をリアルに表現

株式会社ドーム(本社:東京都品川区 代表取締役兼 CEO:安田秀一)は、アスリートのパフォーマンスを最大化させる“パフォーマンスアスレチックブランド”「アンダーアーマー(UNDER ARMOUR)」の新作テレビコマーシャルを制作し、8月8日(日)より、テレビ朝日「熱闘甲子園」(全国ネット)にて放映を開始致します。

本コマーシャルでは、アンダーアーマーの契約チームでもある、ラグビー日本選手権3連覇中の三洋電機ワイルドナイツの選手を起用。自らを向上させるため真剣に追い込むトップアスリートのトレーニングシーンを、リアルに表現しております。コマーシャル内では、トレーニング専用開発されたシューズ、スウェットの新品をはじめ、アンダーアーマーを身にまとい、スティックに鍛え抜く真摯な姿を、リアルに表現しています。日々のトレーニングで成長しようとする姿勢や感情の起伏は、見る人に感動と活力を与えることができるものと自負しております。

また本コマーシャルも、アスリートの感性および商品・ブランドを熟知するドーム社員自らが、深く制作に関わりました。企画立案・コンテ制作・キャスティングから、現場の演出、ナレーション、そして編集まで、社内のクリエイティブ・ディレクター、スタッフが主導して制作しております。

2010年、アンダーアーマーは“UNDER ARMOUR IS TRAINING”というメッセージを軸に、向上心を持って「トレーニング」に励むすべての人々に価値ある商品・サービスを提供してまいります。本コマーシャルを通じて、「アンダーアーマー(UNDER ARMOUR)」ブランドをご理解いただくとともに、一人でも多くの方に、トレーニング(身体を動かすこと)の素晴らしさを感じていただくことにより、国内スポーツ人口の増加、スポーツ市場の発展の一助となることを目指してまいります。

「アンダーアーマー(UNDER ARMOUR)」とは:

汗を素早く吸収、発散し、身体を常にドライで快適に保つウエアをはじめ、アスリートのパフォーマンスを最大化させる“パフォーマンスアスレチックブランド”。近年急速に普及した、身体にフィット(密着)するアスリートのためのウエアの発祥ブランドであり、米国本社では2008年725百万ドル、2009年856百万ドルと、1996年の誕生以来驚異的な成長。日本においても、三洋電機ワイルドナイツ(ラグビー)、大宮アルディージャ(サッカー・J1)のユニホームサプライヤーほか、上野由岐子選手(ソフトボール)、阿部慎之助選手(読売ジャイアンツ)、伊澤利光選手(プロゴルフ)、馬場ゆかり選手(プロゴルフ)、皆川賢太郎選手(アルペンスキー)など、多くのトップアスリートのパフォーマンスを支えています。



【リリースについてのお問い合わせ先】

ブランドマーケティング部 担当:加藤・木村 TEL:03-5781-7929 www.domecorp.com

【一般の方のお問い合わせ先】

ドームカスタマーセンター TEL:0120-106-786 www.underarmour.co.jp

【TVCM ストーリー】

早朝から黙々とトレーニングを行うアスリートたち。
勝利のため、自分の成長のため、彼らは現状に決して満足することはない。
本能を解き放ち、エネルギーを爆発させる。
その積み重ねの先には、新しい自分が待っている。

【放映期間】

2010年8月8日(日)より
「熱闘甲子園」(テレビ朝日系列全国ネット)ほかにて、順次放映

【シーンカット】**【出演】**

三洋電機ワイルドナイツ(ラグビー)

木村 恵輔選手、高安 厚史選手、北川 智規選手、西原 忠佑選手、野口 裕也選手

【三洋電機ワイルドナイツ プロフィール】

1960年創部。所在地は群馬県邑楽郡大泉町。トップリーグへは2003年設立時より参加。日本選手権において、2008年の第45回大会で初優勝。その後2009年、2010年と同大会にて優勝を飾り、大会3連覇を達成。「次代を担う子どもたちに、夢を持つことの素晴らしさを伝える」という“ミッション”を掲げ奮闘を続ける。

【スタッフ】

クリエイティブ・ディレクター:	福田将之(株式会社ドーム)
プランナー:	福田将之(株式会社ドーム)
ナレーション:	外山裕之(株式会社ドーム)
広告代理店	株式会社電通
制作会社	株式会社電通クリエイティブX